



2020年 3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日
東証マザーズ

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所
コード番号 2497 URL <http://united.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役会長CEO (氏名)早川 与規
問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)福島 隆寛 (TEL) 03(6821)0000
四半期報告書提出予定日 2019年7月31日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,083	△61.2	1,694	△86.3	1,662	△86.5	764	△90.8
2019年3月期第1四半期	15,662	381.2	12,349	—	12,343	—	8,317	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △4,663百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 41,039百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	33.44	33.44
2019年3月期第1四半期	361.53	358.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	45,264	33,741	74.1
2019年3月期	57,230	40,100	69.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 33,548百万円 2019年3月期 39,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	24.00	—	37.00	61.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2020年3月期における配当予想額は、現時点で未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】(P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」)に記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 1社(社名) コイネージ株

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	23,671,845株	2019年3月期	23,671,845株
2020年3月期1Q	1,167,045株	2019年3月期	622,995株
2020年3月期1Q	22,854,282株	2019年3月期1Q	23,006,685株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年8月1日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策により、企業収益や雇用環境の改善を中心に緩やかな回復基調が続いているものの、大国間の貿易摩擦や地政学リスク等世界経済を取り巻く環境の影響により、依然先行きが不透明な状態にあります。

当社グループが主に事業展開を行うスマートフォン関連市場においては、2019年4月の内閣府の報告によりますと、2019年3月末の国内スマートフォン世帯普及率は前年度比3.2ポイント増の78.4%と増加を継続しております(*1)。

こうした環境のもと、当社グループにおきましては、今後も市場の成長が見込まれるスマートフォン関連領域に特化した「アドテクノロジー(*2)事業」「ゲーム事業」及び「コンテンツ事業」を中心に事業を展開してまいりました。その中で、中期経営計画「UNITED2.0」の「集中期」にあたる当第1四半期連結累計期間においては、事業の成長性を見極めつつ新規事業やプロダクトへの投資を継続しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、前第1四半期連結累計期間における投資先上場に伴う株式売却益計上の反動により、売上高は6,083,319千円(前年同期比61.2%減)となり、営業利益は1,694,259千円(前年同期比86.3%減)、経常利益は1,662,945千円(前年同期比86.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は764,283千円(前年同期比90.8%減)となりました。

なお、前第1四半期連結累計期間における投資先上場に伴う株式売却益計上による影響額は、売上高12,892,500千円、営業利益及び経常利益12,641,040千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,770,353千円であります。

(*1) 内閣府『平成31年3月実施調査結果：消費動向調査』（2019年4月）

(*2) アドテクノロジー：インターネット広告における広告配信等の技術やシステムを指す。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの概況は、以下のとおりであります。

① アドテクノロジー事業

アドテクノロジー事業は、アプリ広告領域において、アプリ特化広告配信プラットフォーム『ADeals』、動画広告配信プラットフォーム『VidSpot』を提供し、ウェブ広告領域において、SSP『adstir』、DSP『Bypass』、アドネットワーク『HaiNa』を提供しております。

当第1四半期連結累計期間は、アプリ広告領域において前連結会計年度より提供を開始した『ADeals』が順調に拡大を続けており、ウェブ広告領域においても収益性改善施策に取り組んだ結果、売上高は1,593,774千円(前年同期比8.9%増)、セグメント利益は94,821千円(前年同期はセグメント損失49,513千円)と増収増益となりました。

② ゲーム事業

ゲーム事業は、スマートフォン向けアプリにて提供するゲームからの課金収入を事業の柱として、『クラッシュフィーバー』、『CocoPPa Play』及び『東京コンセプト』に加え、当連結会計年度中のリリースを目指した新規タイトル等の開発を進めております。また、前第3四半期連結会計期間より、ゲームアプリの企画及び開発を行う㈱トライフォートを連結子会社化しております。

当第1四半期連結累計期間は、前述の㈱トライフォートの連結子会社化の影響及び前連結会計年度にリリースした新規タイトルの不振により、売上高は579,521千円(前年同期比48.1%増)、セグメント損失は437,444千円(前年同期はセグメント利益69,586千円)と増収減益となりました。

③ コンテンツ事業

コンテンツ事業は、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通じた様々なサービスを提供しており、キラメックス㈱及びフオッグ㈱については、主力事業のさらなる成長と周辺領域への展開に注力し、㈱Smarprise及び㈱アラン・プロダクツについてはビジネスモデル転換や新規事業開発に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、キラメックス㈱及びフオッグ㈱が好調であること、並びに前第3四半期連結会計期間より新サービスを開始した㈱Smarpriseの貢献により、売上高は1,301,008千円(前年同期比42.7%増)と増

加したものの、新規事業への先行投資が継続しているためセグメント損失は188,262千円(前年同期はセグメント損失33,993千円)と増収減益となりました。

④ インベストメント事業

インベストメント事業は、主にシード/アーリーステージを中心としたベンチャー企業への投資を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、投資先の営業投資有価証券を売却したこと等の影響により、売上高は2,637,730千円(前年同期比79.6%減)、セグメント利益は2,491,865千円(前年同期比80.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ11,965,619千円減少し、45,264,493千円となりました。これは主に、法人税等の納付の影響により現金及び預金が3,215,421千円減少したこと及び投資先株式の売却及び時価評価の影響により営業投資有価証券が7,689,587千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ5,606,921千円減少し、11,522,515千円となりました。これは主に、前述の法人税等の納付の影響により未払法人税等が3,607,838千円減少したこと及び前述の投資先株式の売却及び時価評価の影響により繰延税金負債が1,949,961千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ6,358,697千円減少し、33,741,978千円となりました。これは主に、前述の投資先株式の売却及び時価評価の影響によりその他有価証券評価差額金が5,416,011千円減少したこと及び自己株式取得により自己株式が767,903千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期においては、中期経営計画達成に向け、各セグメントにおける成長性の高い事業へ投資を継続して行っており、当期の上半期中に各事業の成長性を見極めを行う計画としております。

そのため、売上高についてはインベストメント事業を除き前期比増収、営業利益については50億円以上を目標としておりますが、今後の見通しを現時点で合理的に予測することが困難であるため、2020年3月期の連結業績予想につきましては非開示とさせていただきます。

なお、業績見通しを合理的に予測することが可能となった段階で、速やかに業績予想を開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,822,421	5,607,000
売掛金	1,781,226	1,593,523
営業投資有価証券	39,190,609	31,501,021
たな卸資産	70,644	119,801
その他	1,344,506	865,833
貸倒引当金	△5,383	△4,736
流動資産合計	51,204,024	39,682,442
固定資産		
有形固定資産	544,967	528,084
無形固定資産		
のれん	4,125,545	3,861,785
その他	432,269	323,624
無形固定資産合計	4,557,814	4,185,409
投資その他の資産	923,305	868,555
固定資産合計	6,026,088	5,582,050
資産合計	57,230,112	45,264,493
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,414,107	1,144,652
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	187,468	179,968
1年内償還予定の社債	-	50,000
未払法人税等	3,946,314	338,475
ポイント引当金	30,251	25,928
その他	917,577	944,101
流動負債合計	6,595,718	2,783,124
固定負債		
社債	-	200,000
長期借入金	334,758	290,391
繰延税金負債	10,198,960	8,248,999
固定負債合計	10,533,718	8,739,390
負債合計	17,129,436	11,522,515

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	2,385,813	2,343,346
利益剰余金	10,954,274	10,865,750
自己株式	△892,077	△1,659,981
株主資本合計	15,371,029	14,472,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,501,737	19,085,725
為替換算調整勘定	△5,216	△9,809
その他の包括利益累計額合計	24,496,520	19,075,916
新株予約権	180,165	193,927
非支配株主持分	52,959	-
純資産合計	40,100,675	33,741,978
負債純資産合計	57,230,112	45,264,493

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	15,662,588	6,083,319
売上原価	2,200,151	3,062,491
売上総利益	13,462,436	3,020,827
販売費及び一般管理費	1,112,812	1,326,568
営業利益	12,349,624	1,694,259
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	-
未払配当金除斥益	-	901
雑収入	3,358	3,943
営業外収益合計	3,358	4,845
営業外費用		
支払利息	400	1,305
持分法による投資損失	565	16,764
為替差損	4,215	9,002
その他	4,072	9,086
営業外費用合計	9,253	36,158
経常利益	12,343,729	1,662,945
特別利益		
新株予約権戻入益	77	-
関係会社清算益	42,194	-
特別利益合計	42,272	-
特別損失		
固定資産除却損	60,000	150
投資有価証券評価損	174,463	-
減損損失	-	99,166
支払負担金	-	48,284
事務所移転費用	-	7,067
その他	1,757	5,096
特別損失合計	236,220	159,765
税金等調整前四半期純利益	12,149,780	1,503,180
法人税、住民税及び事業税	3,874,427	316,467
法人税等調整額	△387	429,972
法人税等合計	3,874,039	746,439
四半期純利益	8,275,740	756,740
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,792	△7,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,317,533	764,283

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	8,275,740	756,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,788,959	△5,416,011
為替換算調整勘定	△25,680	△4,592
その他の包括利益合計	32,763,278	△5,420,604
四半期包括利益	41,039,019	△4,663,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,080,812	△4,656,321
非支配株主に係る四半期包括利益	△41,792	△7,542

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月9日開催の取締役会決議に基づいて自己株式の取得を行い、当第1四半期累計期間において、自己株式が767,903千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、自己株式が1,659,981千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	アドテクノロジー事業	ゲーム事業	コンテンツ事業	インベストメント事業				
売上高								
外部顧客への売上高	1,460,971	389,680	910,048	12,901,888	—	15,662,588	—	15,662,588
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,398	1,632	1,700	—	—	5,731	△5,731	—
計	1,463,370	391,313	911,748	12,901,888	—	15,668,320	△5,731	15,662,588
セグメント利益又は損失(△)	△49,513	69,586	△33,993	12,791,799	△46,410	12,731,467	△381,843	12,349,624

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△381,843千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	アドテクノロジー事業	ゲーム事業	コンテンツ事業	インベストメント事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,577,514	579,319	1,288,755	2,637,730	6,083,319	—	6,083,319
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,260	201	12,252	—	28,714	△28,714	—
計	1,593,774	579,521	1,301,008	2,637,730	6,112,033	△28,714	6,083,319
セグメント利益又は損失(△)	94,821	△437,444	△188,262	2,491,865	1,960,979	△266,719	1,694,259

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△266,719千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下により当初想定していた収益が見込めなくなったため、減損損失として特別損失を計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては99,166千円であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第1四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産が著しく変動しております。その概要は以下のとおりであります。

「インベストメント事業」において、第1四半期連結累計期間に行った投資先株式の売却及び時価評価の影響により、セグメント資産が8,239,821千円減少しております。

(企業結合等関係)

事業分離

当社は、2019年4月25日開催の取締役会において、コインエージ㈱に関し当社が保有する全株式を譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 事業分離の概要

- (1) 分離した子会社の名称
コインエージ㈱
- (2) 分離した子会社の事業内容
仮想通貨取引関連事業
- (3) 分離先企業の名称
コインエージ投資㈱
- (4) 事業分離を行った主な理由
事業環境の変化を踏まえて、仮想通貨取引関連事業への参入準備の中止を決定したため。
- (5) 事業分離日
2019年4月26日
- (6) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項
受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

- (1) 株式譲渡損の金額
411,078千円
- (2) 分離した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	415,120千円
固定資産	284,168千円
資産合計	699,289千円
流動負債	158,793千円
負債合計	158,793千円
- (3) 会計処理
コインエージ㈱の連結上の株主資本相当額と、売却により当社が受け取った財産の時価との差額は、前連結会計年度において「事業整理損」として特別損失に411,078千円を計上しております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

その他事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に、分離した事業に係る損益は計上されておられません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。